

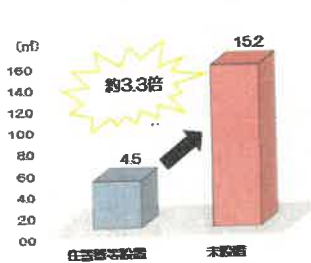
渋谷消防署からのお知らせ



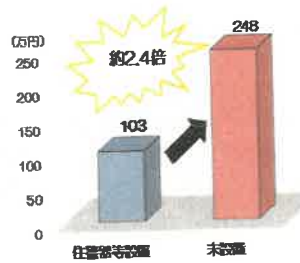
住宅用火災警報器の重要性を知ろう！

住警器奏功データ（過去5年間）

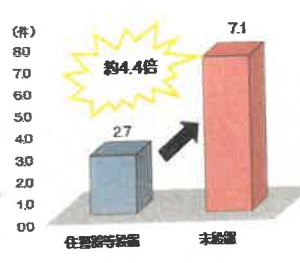
※奏功とは、住警器の作動により火災を未然に防いだ、若しくは、火災による被害を軽減したもの



火災1件あたりの平均焼損床面積

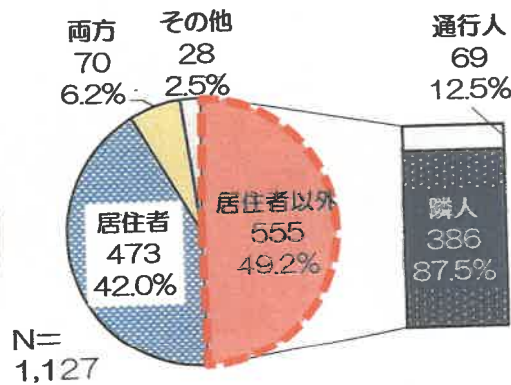
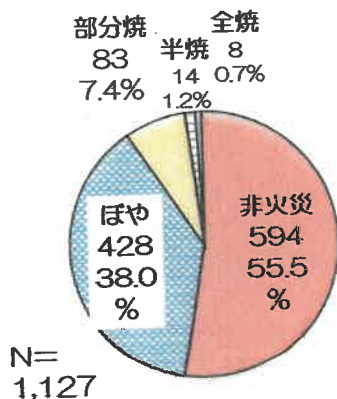


火災1件あたりの平均損害額

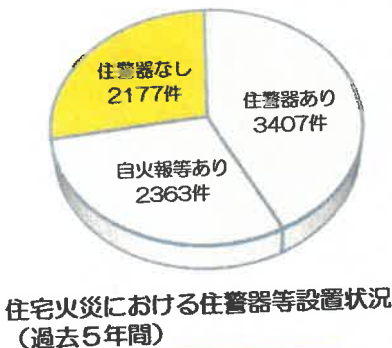


火災100件あたりの死者発生件数

住警器の鳴動により、被害が軽減している。

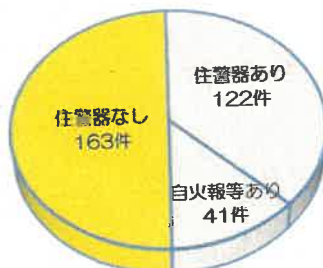


隣人が気付くことにより、早期発見や早期避難に繋がる。



住宅火災における住警器等設置状況（過去5年間）

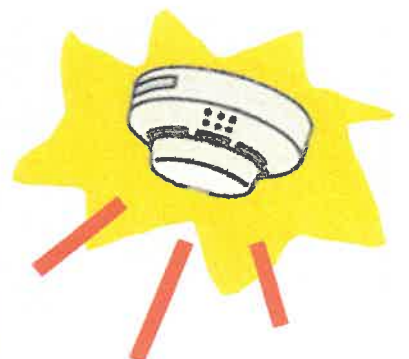
設置なし約3割



死者が発生した住宅火災の住警器等設置状況（過去5年間）

設置なし約5割

住警器の設置率は85%だが、火災が発生した住宅では約3割が設置しておらず、さらには火災による死者が発生した住宅では約半数が設置していなかった。



住警器の設置により火災の早期発見に繋がり被害を最小限度に抑えることができます！